



令和6年9月9日

市政記者クラブ 様

環境局地域環境対策部地域環境対策課
担当課長(環境影響評価・化学物質) 川瀬(972-2676)
課長補佐(有害化学物質対策) 水貝(972-2677)

土壌汚染の報告について

下記のとおり、「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」に基づき、土壌汚染の報告がありましたのでお知らせします。

記

1 報告者 株式会社BALM

2 報告日 令和6年9月5日

3 報告の概要

(1) 対象地名 WECARS名古屋茶屋店
北側旧板金棟

(2) 所在地 名古屋市港区東茶屋三丁目地内
(名古屋市茶屋新田地区区画整理組合64街区仮1番)

(3) 対象地の概要 旧工場(令和3年から令和5年まで)
1,879.89㎡(第2種住居地域、近隣商業地域)

(4) 汚染状況

項目※1	汚染物質	基準超えの濃度	基準に対する倍率	基準	超過地点数／調査地点数※2
土壌溶出量調査	砒素及びその化合物	0.017 mg/L	1.7 倍	0.01 mg/L 以下	1／3

※1 土壌溶出量は土壌に含まれる汚染物質が地下水に溶け出す量を示します。

※2 調査対象地における平面図上で、試料採取によって評価した地点数を示します。

4 本市の対応

報告者に対し、適切な土壌汚染対策を実施するよう指導を行います。

「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」に基づく区域の指定、告示などを行う予定です。



この背景地図等データは、国土地理院ウェブサイトの地理院地図を一部編集して使用している。

<参 考>

基準を超過した物質の毒性について

【砒^ひ素及びその化合物】

急性毒性：70～200 mg の摂取により、嘔吐、下痢、脱力感、筋肉けいれん等が現れ、昏睡後死亡する。

*70 mg は、今回の土壌溶出量の汚染物質濃度（0.017 mg/L）では、水 4.1 kL に含まれる量になります。

慢性毒性：3～6 mg/L の量の長期摂取によっても起こり、一般的には目・鼻・喉等の粘膜炎症に続き、筋肉の弱化、食欲減退が起こる。

発がん性：国際がん研究機関（IARC）は、砒素及び砒素化合物をグループ1（人に対して発がん性がある）に分類している。

出典「改訂4版水道水質基準ガイドブック」「化学物質ファクトシート（環境省ウェブサイト）」
（下線部分は、名古屋市において挿入しました。）